

獅子をつくる

〈西原台団地区〉

小波津区は伝統芸能保存会を発足し、獅子舞などの伝統芸能を紹介しているところとしていますが、これから紹介する西原台団地区には、なんと獅子づくりに挑戦された方がいます。

西原台団地区は比較的新しい自治会です。ですから、伝統芸能といえるものは少なかったわけですが、しかしそんな状況の中で、何か活性化につなげられるものはないかと、獅子づくりに挑戦した西原台団地区自治会長、前代貞夫さんのお話をお聞きます。

西原台団地区前自治会長

前代貞雄さん



前代貞雄 西原台団地区前自治会長

私は平成四年から十年間ほど自治会長をしました。とにかく私が動かないと自



子の木を乾燥させました。一年かかったものもあるし、三頭全部つくるのに二年くらいかかったかな。毛は最初、麻縄を使ったら重い、臭いがきついし、踊っているとき糸くすがたくさん落ちてその埃で大変でした。それで芭蕉の糸を使ったら、うまくいきました。

広報／獅子をつくったというのすごいですが、その獅子の舞いも修得しないといけないですね。

区に多良間出身の人がいまして、その人に踊ってみてもらったんですね。生きた獅子のように迫力があり素晴らしいので西原まつりにも二度出演し、好評を得ました。

それが認められて二〇〇〇年の一月にはハワイ移住一〇〇周年記念祝賀会にも出演しました。



できあがった獅子と前代さん

治会も動きませんから、みんなが楽しんで取り回して、集まれるものはないかと思ひ、獅子舞にしたいんですね。

でも、買うとしたら百万円くらいかかると聞いて、とにかく資金はあまりありませんから、自分で作ることにしました。す。最初まわりの人は本当にできると思っただけじゃありません。

四十五法センチくらいの杉の木を材木屋さんに買いにいいたら、社長さんが「日曜大工ですか」と聞くので、「これで獅子の頭を作ろうと思っただけ」と言ったら、びっくりしてましたね。

とにかく時間があると獅子頭の絵ばかり描いてたんですね。削って出来上がったものを息子に持たせてみたら重すぎてね。それで、でいこの木ももらって削ったんです。三頭つくりました。親子獅子です。最初の獅子頭は四ヶ月で作りました。その間に次の獅



制作途中の獅子



第13回西原まつりで演舞する西原台団地区の獅子舞

い、区の伝統芸能に育てていこうと思っで呼びかけているんですが、まだまだ集まりません。

現在、西原台団地の住民が区の子ども会で子ども獅子を指導しています。やはり野菜作りでも、最初に土台づくり、土作りが大切で、それがないと育たないように、自治会の伝統づくりも土台づくりが大切だと考えています。西原台団地も子ども獅子を習った子どもたちが成長して青年となり、獅子舞が盛んになることにより、区が活性化されれば、うれし

獅子舞

獅子舞は沖繩本島をはじめ、宮古、八重山の各島嶼など古い集落にあって、豊年祭や厄払いの行事で演じられます。

獅子舞が、いつの沖繩に伝来したか定かではありませんが、古くから、その信仰とともに中国大陸から伝わったと考えられています。

獅子は百獣の王であることから、その威力をあげ、獅子によってあらゆる災厄が破られると信じられていました。沖繩の家々の屋根にも獅子が祀（まこ）られ、魔よけの石獅子があり、旧暦六月から八月にかけての豊年祭や旧盆には獅子を舞わし五穀豊稔を祝い、集落の発展や子孫繁栄を祈ります。

本町では小波津や幸地、倉長、小橋川、内間、小那覇、我妻、桃原、西原台団地などに獅子舞が行われていて、各地域に伝統的な獅子舞の型があり、舞の手が崩れないよう受け継がれています。

獅子舞のときは、その胴体のなかに二人の者が入り込み、二人とも前方がみになって一人は前足と頭の役をつとめ、一人は後ろ足と尾を振る役をつとめます。頭の役は右手で、胴の中に横に渡した丸木の把手をにぎり、左手は下あごの中ほどにあけられた穴に四指を入れ、両手で口をつとめ開明します。後ろ足をとめる者は、前足役の棒をしっかりとつかまえ、片手を後ろにまわして尾を振ります。後ろ足役の者は、時には前足役の者を抱き上げたり前足役の者に動作を指示したりします。その主な動作については、あらかじめ打ち合わせをしてから始めますが、ごまかい演技については二人の勘で行っているようです。

獅子舞のわざ

- 1、向きうつき出し
(急に頭を前に突き出すと同時に、何かをくわえて引きつける動作)
- 2、足打ち
(四足を踏みならして敵を威嚇する動作。このときにも向きうつき出しをする)
- 3、大回り
(ときどき左右を見ながら、ゆっくりとあるいは早く大回り)
- 4、三角とび
(右前や左前にならに三角とびをし、向きうつき出しも三角とびをし、)
- 5、穂遊び
(棒とじられる。立つまま棒をくわえたり、放り出したりするまで、座って前足を棒をもてあそぶ)
- 6、風かき
(後ろ足を首をかがい、尻のほうの鬃を口で喰う)

以上が主な技ですが、ごまかいではほつたりなつくり返したりする演技などがありません。獅子を舞うにはフツ、あやす者、が出て、ドラや太鼓、三線、ホラガイなどで誘い出し、棒と戯れたり、穂遊びなどの技を演じさせます。

(参照・西原町史、第四三四九州地区民族芸能大会記録集)